

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年7月22日（金）

2 確認箇所

G4北タンクエリア、G5タンクエリア

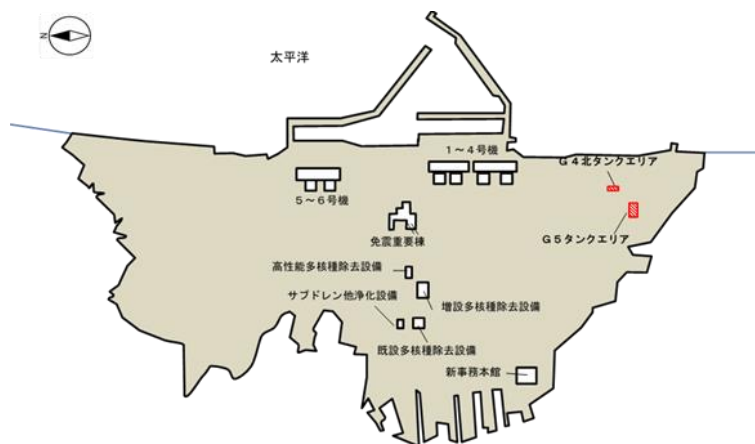
3 確認項目

G4北タンクエリア及びG5タンクエリアにおける溶接型タンク設置工事の進捗状況

4 確認結果の概要

東京電力では多核種除去設備等処理水の海洋放出にあたり、K4タンク群の用途を変更して放射能濃度の測定、評価用の設備を新たに構築することとしている。K4タンク群を用途変更することに伴う代替として、G4北タンクエリア及びG5タンクエリアに多核種除去設備等処理水を保管する溶接型タンクを設置する工事が令和3年7月から開始されていたが、同年12月に溶接作業中の作業員の熱傷災害が発生したことから一時作業が中断されていた。今年1月から再発防止対策が実施され、作業が再開されたことから、進捗状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和4年6月7日](#)）

- ・G4北タンクエリアでは、全6基のタンクの設置、溶接、塗装及び堰の設置が完了していた。（写真1）
- ・また、G4北タンクエリアのタンクと移送配管が接続されていた。東京電力によると、令和4年7月からK4タンクエリアからG4北タンクエリアへの水移送を開始したとのことであった。（写真2）
- ・G5タンクエリアでは、全17基のタンクの設置、溶接及び堰の設置が完了していたが、一部堰の塗装がされていない箇所があった。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
G4北タンクエリアの状況
(今回(7月22日)北西側から撮影)



(写真1-2)
G4北タンクエリアの堰の状況
(前回(6月7日)撮影)



(写真1-3)
G4北タンクエリアの堰の状況
(今回(7月22日)撮影)



(写真2)
K4タンクエリアから水移送される配管の接続の一例



(写真3-1)
G5タンクエリアの状況
(前回(6月7日)南東側から撮影)



(写真3-2)
G5タンクエリアの状況
(今回(7月22日)南東側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。